

学校だより
春日居小学校
9月号

かぶと山

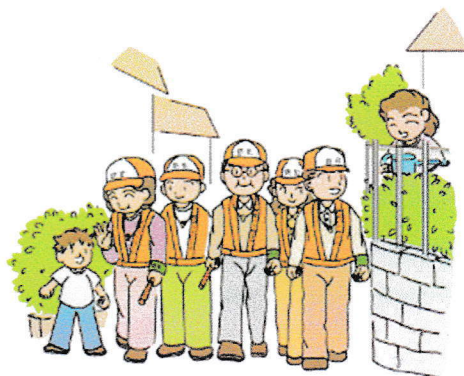
学校教育目標
『心身ともに健康で、
人間性豊かな子どもを育てる』
かんがえる子
すすんで行動する子
がんばりやりぬく子
いたわりの心をもてる子

見守りたいの皆さん いつもありがとうございます。

8月30日(木)、春日居町ボランティア連絡会「見守りたい」夏の交流会に出席してきました。当日は、約30名の見守りたいの方々が出席していました。

春日居の「見守りたい」(「見守り隊」ではなく、自ら見守ろうと意思を表すため「見守りたい」という名称なのだそうです。)は、5年ほど前に結成され、現在では、100名を超える方々で構成されています。

この活動は、見守り活動のさきがけとなり、現在では、活動内容や方法の違いこそあれ、見守り活動が笛吹市内全域で行われています。さらに企業等を含め、笛吹市の見守りネットワークへと広がってきています。



春日居の「見守りたい」は、小・中学生の登下校の見守りを中心に活動してくださっています。その中でも、小学校1年生の学童までの下校には、毎日2名~3名の方々が付き添ってくださっています。

ありがたいことに、お忙しい中、子供たちの安全のために当番を決めて、夏の暑い時も、冬の寒い時もボランティアで見守り活動をしてくださっています。

また、交流会の情報交換では、会員の方々から、日頃の子供たちの様子などが報告されました。ちょっと耳の痛いお話もありましたが、子供たちの安全を第一に考えてくださっていることがよく分かりました。

- ・1年生も学校に慣れてきたこともあり、学童までの道の歩き方がきちんとできなくなってきた。特に、畑と道路の境のコンクリートのふちに登ったり、右側通行(場所によっては左側)が守れない子供もいる。
- ・歩き方などを注意しても素直に聞けない子供がいる。(意見多数)
- ・自宅の前が通学路になっているので、毎朝登校班を見守っている。初めはあいさつしても返事が返ってこなかったが、今では、子供たちの方から元気のいいあいさつをしてくれて、大変うれしい。
- ・小学生だけではなく、中学生も見守っていくことが良い。(自転車で転倒した中学生の手当てもしていただきました。)

ほかにもたくさんのご意見やご感想をいただきました。ありがとうございました。

また、学校から学童に行くまでの道路わきにある水路に柵をつけていただけることや、あぐりの前の交差点に一旦停止の道路標示を付けていただけのことなども報告されました。見守り隊、安全協会をはじめとする地域の皆様、保護者の皆様のおかげで、長年の要望が実を結びました。ありがとうございました。

